

湯沢生涯学習センター等跡地活用基本計画（案）に対するパブリックコメントの結果（令和7年3月27日公表）

No	いただいた意見の要旨	湯沢市の考え方
1	多目的広場、平面駐車場、多目的ガレージの整備とのことだが、特に目新しいものはなく、雪の季節はまともに使えるのか。	跡地の整備・活用方針（15ページ）にも記載していますが、冬季のイベント利用も踏まえた整備内容とするほか、施設や設備の雪対策など維持管理にも配慮した計画としています。
2	スペースの一角で、市民が楽しく健康を維持するための施設として、スポーツジムやダンスホールを整備してほしい。ジムとしては羽後町のむかしがたり館などを参考にすると良い。ダンスはオリンピックに採用されたり若者で流行・授業化もされており、社交ダンスやエアロビなどは中高年において今も根強い人気がある。	跡地の概要（2ページ）にも記載していますが、事業対象地は土石流・急傾斜警戒区域及び特別警戒区域に含まれており、居室（集会や娯楽などに使用する室）を有する建築物の整備には、安全面で制約がある区域であることから、スポーツジムやダンスホールの整備は困難であると考えています。 また、市内には複数の民間スポーツジム等が営業していることから、公営の施設整備により、民業圧迫につながる可能性もあります。 なお、湯沢生涯学習センターの機能を駅前に整備する複合施設に移転することから、軽運動などが可能な多目的ルーム等の貸館利用のほか、複合施設内で実施する運動教室やダンス等の各種ソフト事業へのご参加をいただきたいと思います。
3	設計業務・整備工事については従来方式、維持管理・運営業務は直営となっているが、直営で管理することの職員への負担増加、利用できる幅が狭まってしまう可能性があるため、従来方式として実施することへの理由付けが弱い。	跡地に整備する機能や規模から、現時点で維持管理業務や運営業務を含めた指定管理者制度の導入は想定していませんが、清掃等の一部の維持管理業務を委託する見込みであることから、維持管理・運営業務の手法（20ページ）に「一部委託する」旨を記載します。
4	内閣府の指針を参考にした事業費ベースと市民等の意見を反映させることを踏まえた事業方式の選定だと思うが、PFI方式でもそれらの目的を十分に果たせることや限りある財源の中の整備にあたっては失敗できない一大事業だと認識しており、基本設計から整備工事、その後の維持管理・運営に至るまで、本計画のコンセプトに基づく職員の一貫した考えや想いを十分確立していただきながら進めていただきたい。	PPP/PFI手法については、サービスの向上や財源縮減効果などが見込まれる一方で、要求水準の精査や事業者の選定に時間を要したり、長期契約によるリスク増大などのデメリットも存在します。これらを踏まえた総合的な判断により、本事業の規模や整備する機能、スケジュールにおいては従来方式が適当であると考えています。ただし、民間活力を活用し、市民サービス向上につなげるため、令和7年度に実施予定の基本設計等の事業者については、公募型プロポーザル方式により事業者選定を進めることとしています。（20ページ） また、本事業の財源（21ページ）については、国庫補助金や償還等が有利な地方債の活用を検討しており、財政面の負担軽減に努めたいと考えています。 事業スキームや特定財源などは、今後決定することになりますが、本事業の目的や基本コンセプトは一貫した考えになりますので、中心市街地のにぎわい創出に向けて、取組を進めていきたいと考えています。

湯沢生涯学習センター等跡地活用基本計画（案）に対するパブリックコメントの結果（令和7年3月27日公表）

No	いただいた意見の要旨	湯沢市の考え方
5	基本コンセプトとして、『多世代が集い、学び、憩い、交流できる「にぎわい拠点」の創造』を掲げており、今後の湯沢市にとっては大変重要で、必要なコンセプト設定だと認識している。 その一方で、「にぎわい」という言葉について、どういう状態になっていれば「にぎわっている」と定義されるのか気になる。人がたくさん集まっていることなのか、日常的に利用され子どもの声や市民が遊んでいる状況が常にあることなのか、イベントとして地元事業者が出店することによる消費活動があることなのか、多々可能性がある。本計画に掲載する必要はないが、事業を進めるにあたり具体的かつ測れる成果指標を設定しながら、進捗管理を行ってほしい。	基本コンセプトについては、近年の中心市街地の活力低下という大きな課題に対して、駅前の複合施設や商店街、跡地などにおける取組を通じて、以前のような活気を取り戻したいという想いも込められています。 「にぎわい」については、明確に定義しているものではなく、個人によって捉え方や感じ方が異なるものと考えていますが、イベント開催時の一過性のにぎわいだけでなく、日常的に利用していただくことで感じるにぎわいも重要だと捉えています。今後は、商店街や跡地を利用する市民・関係団体などと共通認識を持って、跡地の整備のほか、並行して進めるソフト施策の具体化においても、にぎわいを創出するための取組の検討を深めていきたいと考えています。 また、本計画案は、ハード整備が中心の基本計画であるため、成果指標等は記載していませんが、本事業がハード・ソフトともに具体化した際には、中心商店街における歩行者通行量などの指標を設定した上で、取組を進めていきたいと考えています。
6	活用できる交付金等が記載されているが、あくまで整備自体の試算かと思われる。その後の運営・維持管理においても一定程度の財源を必要とすることから、それらの財源の目処があるのかご教示いただきたい。	基本的に国庫補助金や地方債の活用は、ハード整備に限られており、イベント等の実施などの一部を除く維持管理・運営業務は一般財源による運用を想定しています。
7	整備する機能・規模についてもイベントやキッチンカー等の記載があり、収益が上がる事業を行いながら、その利益等を公園の維持管理に充当するなど、この先の事業全体に係る経営スキームが不足していると思うので、今後事業を進めるにあたり考慮していただきたい。	収益を維持管理業務に充当する事業スキームとして、都市公園法に基づくPark-PFIが考えられますが、事業対象地は都市公園ではないため、Park-PFIの活用は難しいと考えています。加えて、事業対象地が土石流・急傾斜警戒区域であることや他事業で実施した民間可能性調査などから、跡地へ維持管理に充当できる規模の収益事業を実施することは困難であると考えています。 また、民間によるイベント開催やキッチンカー出店などにおける収益については、基本的には民間の収益になることから、これらの取組を通じて、中心市街地や地域全体への経済効果の波及などを期待しているところです。 現時点で維持管理業務に充当するほどの収益事業は想定していませんが、ご意見をいただいたとおり可能性はあると思いますので、今後ソフト施策などを具体化の中で、検討したいと考えています。
8	基本コンセプトに回遊性の向上が謳われており、駅前複合施設と一体で活用していくことについてはそのとおりだと思う。 その一方で、回遊性の向上にあたり整備・活用方針では、回遊性の向上につながる方針が出されていないと感じる。例えば、駅前複合施設と当該跡地でイベントが開催されていれば当然回遊すると思うが、日常的に市民が回遊するための仕掛けがなかなか見当たらない。人が回遊する際は、そこに動機や目的があるから動くと思うので、非イベント開催時の回遊性向上に向けた仕掛けづくりとしてのグリーンスローモビリティなども入れ込んでいただきたい。	本計画案は、ハード整備が中心の基本計画であるため、回遊性向上などを目的とした具体的なソフト施策は今後検討することとしていますので、ご理解をいただきたいとします。（22ページ） ソフト施策の取組にあたっては、行政だけでなく市民や関係団体との連携が重要であることから、商店街や商工団体、若者・女性団体などとの協議を経て、具体化を図っていきたく考えています。 また、ご意見をいただいたグリーンスローモビリティなども参考にして、日常的な回遊性向上に向けた取組を検討したいと考えています。

湯沢生涯学習センター等跡地活用基本計画（案）に対するパブリックコメントの結果（令和7年3月27日公表）

No	いただいた意見の要旨	湯沢市の考え方
9	当該跡地活用のようにハード面の整備は交付金等の予算確保と首長の決断があればいつでも実施できるが、この跡地が10年後、20年後に負の遺産として語られないようにするためには、整備完了後に持続的な拠点としての機能を果たすソフト施策が重要である。本計画策定にあたり、関係団体との意見交換や市民アンケート調査等を実施しているが、「使いたい・必要だと思う」という意見をした方々が「実際に使う」といえば、必ずしもそうではないと思う。 ソフト施策として、市民誰もが使いやすく、色々な場面で使いやすい跡地にしていくためには、事業スキームが確立されつつも柔軟な運営体制・管理体制があるべきだと思うので、それらの体制についても引き続き検討していただきたい。	本計画案は、ハード整備が中心の基本計画であるため、回遊性向上などを目的とした具体的なソフト施策は今後検討することとしていますので、ご理解をいただきたいとします。（22ページ） ソフト施策の検討にあたっては、引き続き、利用が想定される市民や関係団体との意見交換を実施予定ですので、いただいた意見や要望等を適宜反映していきたいと考えています。 また、ご意見をいただいた維持管理・運営業務における体制についても、併せて検討を深めていきたいと考えています。